講義名	商業簿記			授業形態	その他				
		88*##0 n33 C n+792 46.#0 0		1±17B	ありませ	h			
担当教員	来栖 正利	開講期·曜日·時限 後期 月曜日 3時限/後期 木曜日 4時限							
		単位数 4 履修開始年2	次 2 年生 ナンバリン	グ・コ ACC280	1				
		十世級	M 24E = F	ACC200	<u>.</u>				
主題と概要					授業計画				
商業簿記 での	学習事項を理解していることことを前提に、引き続き、簿記の打	技法の記帳方法を講義します。講義範囲は	は日本商工会議所主催の日商簿記検定試験	の商業簿記2級の範囲です。	第1回 講義概要 Chapterの 2城合格への庭~浦起の本質~				
					Chapter	2級合格への扉~簿記の本質~			
					第2回:(3級で	napter1 現金預金-その1 学習した現金預金取引は、いわゆる「時間差」を考えていま1	せんでした。例えば、今日振り込みした	ものの、入金が翌日になる場合を振り込んだ側と	銀行側の記帳にズレが生じます。この時間差を踏まえた
					記離が2	うずけずめられます			
					[復習]:	、級の内容の復習を60分程度行ってください。 現金の「流れ」に時間差があることを現金過不足の復習と現ま 1分程度かけてください。	金勘定調整表の考え方を勉強し直す		
					963E0 · (vanter1 現全研念-子の2			
					第2回	が復習を行います。講義内容のポイントを確認すると同時に、 級の内容に不安がある場合、この復習を60分程度行ってくだ 現金勘定調整表の考え方を踏まえながら、処理方法を確認した。	問題演習を行ってもらい、その解説を さい。 される問題も事事的なもれません。	行ります。	
到達目標					第1-2	apter1 現金預金-その3 の総まとめ行います。問題演習を解答し、この解説を復習解 総の内容に不安がある場合、この復習を60分程度行ってくだ 現金勘定調整表の作成方法がワンパターンであることを実感	説として行います。		
○ 本本語 10 小根 7 間 いって 10 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1					[復習]:	現金勘定調整表の作成方法がワンパターンであることを実感	できる程度まで講義で扱った問題を解る	なおし、自力で解けるようになるために180分程度	度かけてください。
(1)薄起一週の手続きについて理解するとともに、会神構造と収耗請表を作成できるようになる。 (2)会計構造や財務議務の作成を通じて、ビジネスの諸活動能計量的に把握する能力を与こりすることができるようになる。					第5回:(napter2 商品売買:その1			
1)制造一道の予結寺について理解するだともに、会計構造とは野植業を作成できるようになる。 (2)会社構造や財務造の作成を使して、ビジネスの経済動を計算的に関する最大の身につけることができるようになる。 (3)自両権記検定20後を合格することができる能力を身につけることができるようになる。 (4)会計機能を対象と20後と合格することができる能力を身につけることができるようになる。 (4)会計機能を対象と20後と20後にファイナンス等)の村日の学術に関して役立つであるう基礎的な知識を身につけることができるようになる。					スニレカ	napter2 商品売買:その1 :庫(期末商品棚卸高)の金額が与えられていました。2級は在F 前提にしています。			
					[予習]: 復習:	級の商品売買取引を復習してください(60分程度)。 期末商品棚卸高の価値が減少する事項(数量不足と価格下落)の	の内容を理解してください。 そのさい、	これらの事項が在庫量にマイナスの影響を与える	だけではなく、損益計算にも影響を与えるという内容を
						ください(180分) napter2 商品売買:その2			
					期末商	Hapter と 阿伽元員:でいる 記棚卸高とと級で学習する商品評価損と棚卸減耗を図示するこ 第4-5回の講義を内容を踏まえて、図示表示された各勘定科目 資料として与えられた各勘定の数字を適切に図示表示できるが	とで次期繰越額の算定方法を講義しま の関係を理解するために 図本の8日	す。今回の講義で身に着けるべきことは図示表示を 文を読んで理解が困難な無公を明らかにしてもいる	を自分自身でできることです。 で護義に臨んでください(60公理度)
					復習	幕4-5回の講義を内谷を踏まえて、図示表示されに合創定科目 資料として与えられた各勘定の数字を適切に図示表示できる↑ てください。	い対応を理解するために、凶衣の説明 とめに180分程度の復習時間を当ててく	へっぱいと性所が四熱なが方を明らかにしておいて ださい。図示表示できることができれば、これをf	と関系に贈んとこんといけりが住民。 土訳・転記することが容易にできるようになります。丁寧
					第5-6	napter2 商品売買:その3 の講義内容を踏まえた問題演習を行います。 問題演習をスムーズに解くことができるように、第5-6回の講	義内容を再度確認し、各勘定科目の内	容とその意味を復習してください(60分)。	
提出課題					[復習]:	問題演習をスムーズに解くことができるように、第5-6回の講 図示表示を自力でできることができれば、仕訳すべき金額を打 採として与えられた各勘定の数字を適切に図示表示できるた	巴握できるようになりますので、与え めに180分程度の復習時間を当ててくが	れた資料に基づいて図示表示が容易にできるよう さい。	に問題演習で扱た問題を反復演習してください。[予習と
講義内容に関する	るレポート課題を、基本的に毎回の講義毎、配布する用紙に作成 レポート課題実施回数に対して1/3以上を提出しなかった場合(技 ート課題を提出しなかった場合には「欠席」となります。	覧・提出してもらいます。これは講義に実 ■出しなかった/できなかった理由を問いる	実際に出席したか否かを問わず、出席調査 ません)、履修放棄と判断し、最終評価を	を兼ねます。なお、出席調査を加点の対象に 確定します。したがって、講義に出席したに					
も関わらずレポ・	ート課題を提出しなかった場合には「欠席」となります。				第5-7	apter2 商品売買: その4 の講義内容を踏まえて、各勘定科目の金額を算定できること 第5-7回の講義内容を踏まえて仕訳と転記ができるか否かを確 勘定科目の金額を付訳と転記できることが主軸になります。 の復習時間をとってください。	を踏まえて、今度はこれらの金額を踏 かめてください(60分)。	まえた仕訳と転記を主軸にした講義を行います。	
					復習]:1	樹定科目の金額を仕訳と転記できることが王軸になります。 の復習時間をとってください)。	住訳と転記は3級ですでに字習している	5事項です。しかしなから、これらに不安かある場	合、焦らすに3級の復習を行ってください(3級の事項を含
					第9回Cha	oter2 商品売買:その5 の講義を踏まえた問題演習を行った復習を行います。			
					[復闘]:	(V)画表を踏まんに同越演音を行うに復音を行いはす。 移品売買取引の項目がいったん今回で一区切りになります。3 夬済手段の一つである手形を次回の講義で扱います。掛取引 手形に振出人と受取人があることの意味と受取人が行うべきが	級の事項を含めて180分の復習時間を	ってください)。	
					[復習]:	手形に振出人と受取人があることの意味と受取人が行うべき	U理とその理由を調べてください(1205)).	
					第10回CI 決済手段	apter3 手形等の取引 カーつである手形を講義します。馴染のない項目なので干寒!	こ説明していきます。掛取引と異なり、	手形は取引当事者が事前に決まっています。この	ことの意味を理解してください。取引当事者が明確であ
					ることの [予習]:	かーってある手形を調義します。馴染のない項目なので丁寧 意味を併せて説明します。時に、受取手形は赤掛金の期末残 手形の機能に関する説明を読んだうえで講義に臨り 第時の貸倒れ処理を踏まえて、180分程度の時間をとってくが	高に関する貸倒れの処理に関係します。 ハ(60分)。	で、これも併せて説明します。	
課題(レポート	トや小テスト等)に対するフィードバックの方法						ะลเง. ^^		
	terms and the second se					(アクティブ・ラーニング)			
解答等をPotalに	掲載する予定でいます。							ノ・ビギ・哲学 / 和禁頭傷の悪寒を哲学がに立っ	ナル 和競技研究の悪事を数字でには機能が多く
解答等をPotalに	- 掲載する予定でいます。				0	7:PBL(課題解決型学習)			ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
解答等をPotalに	掲載する予定でいます。				0			エ:グループワーク	ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
解答等をPotal に	掲載する方定でいます。				0	7:PBL(課題解決型学習) 7:ディスカッション、ディベート d:ブレゼンテーション	8当しない場合)		ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
解答等をPotalに	掲載するか定でいます。				0	7 : PBL (課題解決型学習) D : ディスカッション、ディベート	x当しない場合)	エ:グループワーク	ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
解答等をPotalに	掲載する予定でいます。				0	7:PBL(護題解決型学習) 7:ディスカッション、ディベート †:ブレゼンテーション F:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも診	対当しない場合)	エ:グループワーク	ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
解答等をPotalに	掲載する予定でいます。				卒業認定	7: PBL(課題解決型学習) 1: ディスカッション、ディベート 1: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 ・学位授与の方針と当該授業料目の関連		エ:グループワーク	ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
	掲載する予定でいます。				卒業認定ディブロ	7: PBL(課題解決型学習) 2: ディスカッション、ディベート 1: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 ・学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま	ý .	エ: グルーブワーク カ: 実習、フィールドワーク	
評価の基準 (1)100点満点	※の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ	ナ感染症の状況によって定期試験の実施	が不可能になる可能性を踏まえて、講義訓	羽間中に実施する課題作成と提出を欠かさな	卒業認及 ディブロ 到達目 (3) -	7: PBL (課題解決型学習) 1: ディスカッション、ディペート 1: ブレゼンテーション F: その他 (A L型であるけども、以上の項目のいずれにも影 ・学位授与の方針と当該授業科目の関連 マポリシーとの配害について説明すると下記のようになりま (1) から(4) を達成することにより、経営学科PP(1) - の選派に貢献します。	ý .	エ: グルーブワーク カ: 実習、フィールドワーク	
評価の基準 (1)100点満点に いようにしてくれ	iの定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ ださい。				卒業認知 ディブロ 到達目 (3)・ 経営学科	7: PBL (課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート †: ブレゼンテーション F: その他 (AL型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マポリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科OP (1) - の達成に買給します。 DPは以下の通りです。	ý .	エ: グルーブワーク カ: 実習、フィールドワーク	
評価の基準 (1)100点満点に いようにしてくれ	※の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ				卒業認知 ディブロ 到達日 (3) - 経営学科 DP (1)	7: PBL (課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート †: ブレゼンテーション F: その他 (AL型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マポリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科OP (1) - の達成に買給します。 DPは以下の通りです。	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・	エ: グルーブワーク カ: 実習、フィールドワーク 、マーケティング学科OP(1) - 、ブランド戦略	
評価の基準 (1)100点満点に いようにしてくれ	iの定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ ださい。				卒業認知 ディブロ 到達日 (3) 経営学科 DP(1) 各業界の	7: PBL (課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも記 ・学位授与の方針と当該授業科目の関連 マポリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1)から(4)を達成することにより、経営学科DP(1)・)の達成に関係します。 DPは以下の通りです。	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・	エ: グルーブワーク カ: 実習、フィールドワーク 、マーケティング学科OP(1) - 、ブランド戦略	
評価の基準 (1)100点満点に いようにしてくれ	iの定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ ださい。				卒業認須ディブロ 到達目 (3) - 経営学 PC (1) 6音界の 会計コー	7: PBL (課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科OP(1) - の達成に質数します。 DPは以下の通りです。 動や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。	す。 、会計コースDP(5) - 、(5) - もとに、企業マネジメントに関する問	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点に いようにしてくれ	iの定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ ださい。				卒業認須ディブロ 到達目 (3) - 経営学 PC (1) 6音界の 会計コー	7: PBL (護題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 1: ブレゼンテーション F: その他 (AL型であるけども、以上の項目のいずれにも数 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マポリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科DP(1) - の連派に貢献します。 DPは以下の通りです。 動向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを	す。 、会計コースDP(5) - 、(5) - もとに、企業マネジメントに関する問	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点に いようにしてくれ	iの定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ ださい。				卒業認須ディブロ 到達目 (3) - 経営学 PC (1) 6音界の 会計コー	7: PBL (課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科OP(1) - の達成に質数します。 DPは以下の通りです。 動や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。	す。 、会計コースDP(5) - 、(5) - もとに、企業マネジメントに関する問	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点に いようにしてくれ	iの定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ ださい。				卒業認須ディブロ 到達目 (3) - 経営学 PC (1) 6音界の 会計コー	7: PBL (課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科OP(1) - の達成に質数します。 DPは以下の通りです。 動や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。	す。 、会計コースDP(5) - 、(5) - もとに、企業マネジメントに関する問	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点に いようにしてくれ	iの定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ ださい。				卒業認須ディブロ 到達目 (3) - 経営学 PC (1) 6音界の 会計コー	7: PBL (課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科OP(1) - の達成に質数します。 DPは以下の通りです。 動や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。	す。 、会計コースDP(5) - 、(5) - もとに、企業マネジメントに関する問	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点 いようにしてく) (2)日本商工・	iの定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ ださい。				卒業認定ディブ 第項目 (3) 学り PP(1) 音楽界の 会計コー PP(5)	7: PBL(課題解決型学習) D: ディスカッション、ディベート T: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 ・学位授与の方針と当該授業科目の関連 マポリシーとの原連について説明すると下記のようになりま (1) から、(4) を選成することにより、経営学科DP(1) - の達成に貢献します。 動向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。 - 類記・会計の学問的知識を身につけ、企業の解及状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえて、修得した専門知識	す。 、会計コースDP(5) - 、(5) - もとに、企業マネジメントに関する問	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1) 100点満点 いようにしてく) (2) 日本商工: で で で で で で で で の で の で で で で で で で で	3の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ ださい。 会選所主催の簿記検定2級の合格を加点対象にする(30点の加点)。 での注意・助害他	. 在籍中の合格であれば、オンライン受勢	験であるか会場受験であるかを問わない。	詳細は12月中に説明する。	卒業認定 ディブ目 (3) 経営学科 (5) DP(1) 6業界の会計コー (5) DP(5) 双方向打	7: PBL(護題解決型学習) 2: ディスカッション、ディペート 4: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも影 - 学位授与の方針と当該授業科目の関連 マポリシーとの際連について説明すると下記のようになりま (1) から(4) を達成することにより、経営学科PP(1) - の連派に貢献します。 助向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのPPは以下の通りです。 - 類記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえて、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点 いようにしてく) (2)日本商工: (2)日本商工: (3) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (8)	(の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ たさい。 会議所主催の薄記検定2級の会格を加点対象にする(30点の加点)。 での注意・助害他 での注意・助害他	. 在籍中の合格であれば、オンライン受験	験であるか会増受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義	詳細は12月中に説明する。 「 なので、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	卒業認定 ディブ目 (3) 経営学科 (5) DP(1) 6業界の会計コー (5) DP(5) 双方向打	7: PBL(課題解決型学習) D: ディスカッション、ディベート T: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 ・学位授与の方針と当該授業科目の関連 マポリシーとの原連について説明すると下記のようになりま (1) から、(4) を選成することにより、経営学科DP(1) - の達成に貢献します。 動向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。 - 類記・会計の学問的知識を身につけ、企業の解及状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえて、修得した専門知識	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点 いようにしてく) (2)日本商工: (2)日本商工: (3) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (8)	3の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ ださい。 会選所主催の簿記検定2級の合格を加点対象にする(30点の加点)。 での注意・助害他	. 在籍中の合格であれば、オンライン受験	験であるか会増受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義	詳細は12月中に説明する。 「 なので、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	卒業認定 ディブ目 (3) 経営学科 (5) DP(1) 6業界の会計コー (5) DP(5) 双方向打	7: PBL(護題解決型学習) 2: ディスカッション、ディペート 4: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも影 - 学位授与の方針と当該授業科目の関連 マポリシーとの際連について説明すると下記のようになりま (1) から(4) を達成することにより、経営学科PP(1) - の連派に貢献します。 助向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのPPは以下の通りです。 - 類記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえて、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点 いようにしてく) (2)日本商工: (2)日本商工: (3) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (8)	(の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ たさい。 会議所主催の薄記検定2級の会格を加点対象にする(30点の加点)。 での注意・助害他 での注意・助害他	. 在籍中の合格であれば、オンライン受験	験であるか会増受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義	詳細は12月中に説明する。 「 なので、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	卒業認定 ディブ目 (3) 経営学科 (5) DP(1) 6業界の会計コー (5) DP(5) 双方向打	7: PBL(護題解決型学習) 2: ディスカッション、ディペート 4: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも影 - 学位授与の方針と当該授業科目の関連 マポリシーとの際連について説明すると下記のようになりま (1) から(4) を達成することにより、経営学科PP(1) - の連派に貢献します。 助向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのPPは以下の通りです。 - 類記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえて、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点 いようにしてく) (2)日本商工: (2)日本商工: (3) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (8)	(の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ たさい。 会議所主催の薄記検定2級の会格を加点対象にする(30点の加点)。 での注意・助害他 での注意・助害他	. 在籍中の合格であれば、オンライン受験	験であるか会増受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義	詳細は12月中に説明する。 「 なので、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	卒業認定 ディブ目 (3) 経営学科 (5) DP(1) 6業界の会計コー (5) DP(5) 双方向打	7: PBL(護題解決型学習) 2: ディスカッション、ディペート 4: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも影 - 学位授与の方針と当該授業科目の関連 マポリシーとの際連について説明すると下記のようになりま (1) から(4) を達成することにより、経営学科PP(1) - の連派に貢献します。 助向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのPPは以下の通りです。 - 類記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえて、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点 いようにしてく) (2)日本商工: (2)日本商工: (3) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (8)	(の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ たさい。 会議所主催の薄記検定2級の会格を加点対象にする(30点の加点)。 での注意・助害他 での注意・助害他	. 在籍中の合格であれば、オンライン受験	験であるか会増受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義	詳細は12月中に説明する。 「 なので、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	 卒業認定 ディブニ 関連目 (3)・ 経営学科 会計コー DP(5) DP(5) 双方向打 標率知論	7: PIL(課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 1: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、総営学科OP (1) ・) の達成に関係します。 DPは以下の通りです。 - 類的や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。 - 海記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述 ならびに標準技法習得を目指す講義であり、議論を主軸に運	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点 いようにしてく) (2)日本商工: (2)日本商工: (3) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (8)	(の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ たさい。 会議所主催の薄記検定2級の会格を加点対象にする(30点の加点)。 での注意・助害他 での注意・助害他	. 在籍中の合格であれば、オンライン受験	験であるか会増受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義	詳細は12月中に説明する。 「 なので、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	学業認定 ディブロ 関連目 (3) - 日会業力 DP(15 DP(5) DP(5) 双方向打 標準知論 実務経経	7: PBL(課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科のP(1)・ の達成に関係します。 助中問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。 - 海記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述 ならびに標準技法習得を目指す講義であり、議論を主軸に運 の有無及び活用	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点 いようにしてく) (2)日本商工: (2)日本商工: (3) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (8)	(の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ たさい。 会議所主催の薄記検定2級の会格を加点対象にする(30点の加点)。 での注意・助害他 での注意・助害他	. 在籍中の合格であれば、オンライン受験	験であるか会増受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義	詳細は12月中に説明する。 「 なので、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	 卒業認定 ディブニ 関連目 (3)・ 経営学科 会計コー DP(5) DP(5) 双方向打 標率知論	7: PBL(課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科のP(1)・ の達成に関係します。 助中問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。 - 海記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述 ならびに標準技法習得を目指す講義であり、議論を主軸に運 の有無及び活用	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点 いようにしてく) (2)日本商工: (2)日本商工: (3) (3) (3) (3) (4) (5) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (8)	(の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ たさい。 会議所主催の薄記検定2級の会格を加点対象にする(30点の加点)。 での注意・助害他 での注意・助害他	. 在籍中の合格であれば、オンライン受験	験であるか会増受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義	詳細は12月中に説明する。 「 なので、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	学業認定 ディブロ 関連目 (3) - 日会業力 DP(15 DP(5) DP(5) 双方向打 標準知論 実務経経	7: PBL(課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科のP(1)・ の達成に関係します。 助中問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。 - 海記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述 ならびに標準技法習得を目指す講義であり、議論を主軸に運 の有無及び活用	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点 いようにしてく) (2)日本商工: (2)日本商工: (3)日本商工: (3)日本商工: (3)日本商工: (3)日本商工: (3)日本商工: (3)日本商工: (3)日本商工: (3)日本商工: (3)日本商工: (3)日本商工:	(の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロ たさい。 会議所主催の薄記検定2級の会格を加点対象にする(30点の加点)。 での注意・助害他 での注意・助害他	. 在籍中の合格であれば、オンライン受験	験であるか会増受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義	詳細は12月中に説明する。 「 なので、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	学業認定 ディブロ 関連目 (3) - 日会業力 DP(15 DP(5) DP(5) 双方向打 標準知論 実務経経	7: PBL(課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科のP(1)・ の達成に関係します。 助中問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。 - 海記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述 ならびに標準技法習得を目指す講義であり、議論を主軸に運 の有無及び活用	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点 いようにして約 (2)日本商工・ (2)日本商工・ (2)日本商工・ を強調である。 (3)日本商工・ (3)日本商工・ (4)日本商工・ (5)日本商工・ (5)日本商工・ (5)日本商工・ (6)日本商工・ (6)日本商工・ (7)日本商工・ (7)日本商工・	の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロださい。 会議所主催の簿記検定2級の合格を加点対象にする(30点の加点) での注意・助害他 での注意・助害他 するようなことをしないのは、履修者自身が自分自身の必要性に 確認しを好成績で単位取得している程度の知識と問題解答能力を をもって誰むこと。	、在額中の合格であれば、オンライン受験 基づいて勉強するならば十分単位修得が 備えていることが必要である。なお、この	験であるか会場受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義 の大学に人学する前に各種簿記検定の資格	詳細は12月中に説明する。 室に「匿る」だけならば、単位修得は不可能 名を得ている履修者は、初学者として最初か	学業認定 ディブロ 関連目 (3) - 日会業力 DP(15 DP(5) DP(5) 双方向打 標準知論 実務経経	7: PBL(課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科のP(1)・ の達成に関係します。 助中問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。 - 海記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述 ならびに標準技法習得を目指す講義であり、議論を主軸に運 の有無及び活用	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点満点 いようにしてが (2)日本商工: (2)日本商工: 環接 を強調である。 高のでは、 高のでは、 高のでは、 高のでは、 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロださい。 会議所主催の簿記検定2級の合格を加点対象にする(30点の加点) での注意・助害他 するようなことをしないのは、履修者自身が自分自身の必要性に 確認しを好成績で単位取得している程度の知識と問題解答能力を をもって臨むこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 在額中の合格であれば、オンライン受験 基づいて勉強するならば十分単位修得が 備えていることが必要である。なお、この	験であるか会場受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義 の大学に人学する前に各種簿記検定の資格	詳細は12月中に説明する。 室に「壓る」だけならば、単位修得は不可能 8を得ている履修者は、初学者として最初か 9784781032214		7: PBL(課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科のP(1)・ の達成に関係します。 助中問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。 - 海記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述 ならびに標準技法習得を目指す講義であり、議論を主軸に運 の有無及び活用	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点滞点 いようにして前 にして前 (2)日本商 で (2)日本商 で (2)日本商 で (3)日本商 で (3)日本商 で (4)日本商 で (5)日本商 で (5)日本商 で (6)日本商 で (6)日本商 で (7)日本商 で (7)日本商 で (7)日本商 で (8)日本商 で (8)日本 で	の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロださい。 会議所主催の簿記検定2級の合格を加点対象にする(30点の加点) での注意・助害他 での注意・助害他 するようなことをしないのは、履修者自身が自分自身の必要性に 確認しを好成績で単位取得している程度の知識と問題解答能力を をもって誰むこと。	、在額中の合格であれば、オンライン受験 基づいて勉強するならば十分単位修得が 備えていることが必要である。なお、この	験であるか会場受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義 の大学に人学する前に各種簿記検定の資格	詳細は12月中に説明する。 室に「匿る」だけならば、単位修得は不可能 名を得ている履修者は、初学者として最初か	学業認定 ディブロ 関連目 (3) - 日会業力 DP(15 DP(5) DP(5) 双方向打 標準知論 実務経経	7: PBL(課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科のP(1)・ の達成に関係します。 助中問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。 - 海記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述 ならびに標準技法習得を目指す講義であり、議論を主軸に運 の有無及び活用	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点減点 いようにしてく (2)日本商工で (2)日本商工で (2)日本商工で (2)日本商工で (3)日本商工で (3)日本商工で (4)日本商工で (5)日本商工で (5)日本商工で (6)日本商工で (6)日本商工で (7)日本商工で (7)日本 (7)日	の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロださい。 会議所主催の簿記検定2級の合格を加点対象にする(30点の加点) での注意・助害他 するようなことをしないのは、履修者自身が自分自身の必要性に 確認しを好成績で単位取得している程度の知識と問題解答能力を をもって臨むこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 在額中の合格であれば、オンライン受験 基づいて勉強するならば十分単位修得が 備えていることが必要である。なお、この	験であるか会場受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義 の大学に人学する前に各種簿記検定の資格	詳細は12月中に説明する。 室に「壓る」だけならば、単位修得は不可能 8を得ている履修者は、初学者として最初か 9784781032214		7: PBL(課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科のP(1)・ の達成に関係します。 助中問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。 - 海記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述 ならびに標準技法習得を目指す講義であり、議論を主軸に運 の有無及び活用	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (14)にの基準に いようにして商工を (2)日本商工を (2)日本商工を 適議報告の 高監視 (2)日本商工を (3)日本商工を (3)日本商工を (4)日本商工を (4)日本商工を (5)日本商工を (5)日本商工を (6)日本 (6)日本 (の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロださい。 会議所主催の簿記検定2級の合格を加点対象にする(30点の加点) での注意・助害他 するようなことをしないのは、履修者自身が自分自身の必要性に 確認しを好成績で単位取得している程度の知識と問題解答能力を をもって臨むこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 在額中の合格であれば、オンライン受験 基づいて勉強するならば十分単位修得が 備えていることが必要である。なお、この	験であるか会場受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義 の大学に人学する前に各種簿記検定の資格	詳細は12月中に説明する。 室に「壓る」だけならば、単位修得は不可能 8を得ている履修者は、初学者として最初か 9784781032214		7: PBL(課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科のP(1)・ の達成に関係します。 助中問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。 - 海記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述 ならびに標準技法習得を目指す講義であり、議論を主軸に運 の有無及び活用	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、
評価の基準 (1)100点減点 いようにしてく (2)日本商工で (2)日本商工で (2)日本商工で (2)日本商工で (3)日本商工で (3)日本商工で (3)日本商工で (4)日本商工で (5)日本商工で (5)日本商工で (6)日本商工で (6)日本商工で (6)日本商工で (7)日本商工で (7)日本 (7)日	の定期試験の得点に基づいて最終評価を確定する。なお、コロださい。 会議所主催の簿記検定2級の合格を加点対象にする(30点の加点) での注意・助害他 するようなことをしないのは、履修者自身が自分自身の必要性に 確認しを好成績で単位取得している程度の知識と問題解答能力を をもって臨むこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 在額中の合格であれば、オンライン受験 基づいて勉強するならば十分単位修得が 備えていることが必要である。なお、この	験であるか会場受験であるかを問わない。 ができるからである。しかしながら,講義 の大学に人学する前に各種簿記検定の資格	詳細は12月中に説明する。 室に「壓る」だけならば、単位修得は不可能 8を得ている履修者は、初学者として最初か 9784781032214		7: PBL(課題解決型学習) 7: ディスカッション、ディベート 7: ブレゼンテーション F: その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも記 *学位授与の方針と当該授業科目の関連 マボリシーとの関連について説明すると下記のようになりま (1) から (4) を達成することにより、経営学科のP(1)・ の達成に関係します。 助中問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これを スのDPは以下の通りです。 - 海記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、 - 企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識 業の実施及びICTの活用に関する記述 ならびに標準技法習得を目指す講義であり、議論を主軸に運 の有無及び活用	す。 、会計コースDP(5)・ 、(5)・ もとに、企業マネジメントに関する問題 経営成績、キャッシュフロー等に関す をもとに企業が資面する問題や企業の	エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク 、マーケティング学科DP(1) - 、ブランド戦略	8コースDP(2)・ 、流通ビジネスコースDP(3)・ 、